

委員会のうごき

総務文教常任委員会

専決処分承認を求めることについて「平成21年度八潮市一般会計補正予算(第1号)一などの3議案、補正予算関係では、平成21年度一般会計補正予算第2号)の分割付託1議案、条例関係では、八潮市税条例の一部を改正する条例についてなど2議案のあわせて6議案の審査を行いました。

専決処分の承認を求めることについて(八潮市税条例等の一部を改正する条例)では、意見として、

「地方税法の改正による条例の一部改定であるが、昨年の改正時は、大資本家及ぶということ100万円以下、譲渡益においては500万円以下という部分のみの軽減税率だったが、2011年には本則に戻すということだった。今回は上限額をなくし、復活延長する改正である。八潮市の影響額は定かでないことだが、国税庁の調査によると、国内年間所得の100億円以上の高額所得者はたった10人だが、その10人の所得は上場株式の配当や譲渡益が約6分の5である。一人当たりの減税額が、15億4千万円になると、地方の影響分は3億1千万円になる。大資本家に対する優遇税制の復活ということだ。現在のような経済状況の中では、もう少し違った地方税の改正が必要だのではないかとということから、反対する」との発言がありました。

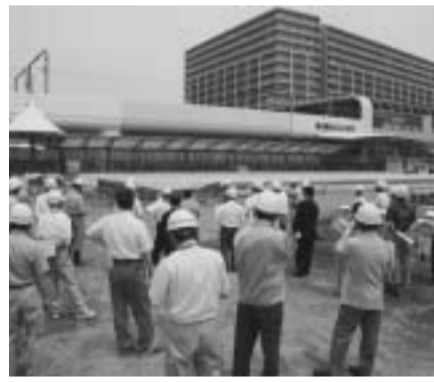
次に意見として、「税法の改正は、資本家への優遇税制ではないかとのことだが、これは昭和恐慌以来の金融恐慌を防ごうというのが目的である。1400兆円ある個人金融資産をいかに直接投資のほうへ振り向けるか。銀行が貸し渋りなどと言っているが、今回の決算を見てみるとほとんどの金融機関が赤字である。株の下落により、含み資産の減った分が自己資本の減少になってしまふ。そのために、貸し渋り・貸しはがしが起きている訳である。それを排除するために、個人金融資産を社債や株式投資に振り向けることよって、株価の下落を防ごうとしているのである。短絡的に資本家を優遇するなどと、一理あるかも知れないが、それを下支える資金が流入しなければ景気の浮揚は不可能であることから、ご理解とご賛同をいただきたい。以上、賛成の立場で討論する」との発言がありました。

建設水道常任委員会

委員会に付託された議案については、平成21年度八潮市水道事業会計補正予算(第1号)の審査を行いました。また、所管事項の調査のため、現地視察を行いました。



○南口駅前交通広場



○南口駅前交通広場

議案の審査結果については、可決すべきものと決定しました。

○4月20日・長野県茅野市
「行政改革とパートナーシップのまちづくりについて」
○4月21日・長野県岡谷市
「窓口業務(ワンストップサービスなど)、補助金のサンセット方式について」

○5月12日・岐阜県大垣市
「四季の里構想事業について」

福祉環境常任委員会

委員会に付託された議案については、平成21年度八潮市一般会計補正予算(第2号)の分割付託1議案、八潮市国民健康保険条例の一部を改正する条例についてなど4議案のあわせて5議案の審査を行いました。

平成21年度八潮市一般会計補正予算の緊急地域雇用対策費の関連では、「市で実施する緊急雇用創出事業の雇用方法はどうか」との質問に対し、「委託事業の中で、新規雇用者の募集方法については、公共職業安定所への求人申し込みが前提となる。また、直接募集を行う際にも、埼玉県「彩の国仕事発見システム」への登録が必要である。以上のように公開的に募集を図ることになっている」との答弁がありました。

議案の審査結果については、5議案すべて可決すべきものと決定しました。

○5月14日・岐阜県瑞浪市
「幼保一元化について」
○5月15日・愛知県安城市
「環境施策について」

議案の審査結果については、可決すべきものと決定しました。

6月9日、議会運営委員会が

特別委員会関係

開催され、継続審査となっていた「八潮市議会議員定数削減を求める請願書」の審査を行い、不採択とすることに決定しました。

○5月7日・静岡県牧之原市
「議会活性化委員会(議員定数等)について」
○5月8日・静岡県熱海市
「議会運営全般について」

受け、質疑応答を行いました。■小中一貫教育等調査研究特別委員会(5月29日)
「議題」小中一貫教育の進捗状況について

「議題」市町村合併に関する動向について
■外環・東埼玉道路周辺対策特別委員会(6月10日)
「議題」北部地区まちづくり基本調査の報告について

「議題」駅周辺の整備状況について

「議題」八潮駅周辺対策特別委員会(6月16日)

編集後記

議会報編集委員会から



八潮駅南口駅前ロータリーが8月末から供用開始となります。TXが開通して4年です。この間、八潮駅の乗車人数は開通時の1日平均6600人から1万3400人に倍増。人口は約5000人増の8万2083人になりました。昭和47年の市制施行を第一章とすれば、TX開通は八潮市の第二章の始まりです。22m道路に枝を並べるケヤキは、度重なる風雨に耐えて、若木から大樹に育ち見事な並木を形成しました。9月には市長選と市議選が行われます。発展しゆく八潮の未来を担う活発な選挙をと思います。議会という何かと定数が話題になりますが、これから益々増えるであろう新住民の議会参加を整える環境づくりも大事ではないでしょうか。新緑から深緑に育つケヤキのように情熱ある議会第二章の八潮を築きましょう。

(森下純二)

「やしお市議会だより」は、新聞折り込みでお届けしています。市役所、八潮駅、お近くの公共施設などでもお受け取りになれます。